

## 流域治水の具体的な取組み内容

下記のとおり流域治水の具体的な取組み内容を報告します。

(企業等名称：株式会社伊予鉄高島屋)

<p>目的や背景</p>	<p>近年、自然破壊・地球温暖化の影響により、過去に経験したことのないような「大雨、豪雪、猛暑」等の異常気象が近年多発しており、社会生活に大きな影響を与えている。当社においては、大規模地震への備えや対策は、一定レベルで整えられているが、その他自然災害への対策については発生時での対症療法的な施策にとどまっている。今後は、気象災害リスクからの回避・リスク低減を行い、安心・安全な店舗環境を構築していきたい。</p>
<p>取組み内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常用電源の確保 発電機 AT360S 268kw(ヤマ-</li> <li>・水災害に備えた資機材の確保 防水板(南館)</li> <li>・防災士の取得 13名取得</li> </ul>
<p>取組状況が分かる写真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>防水板(南館)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>発電機 AT360S 268kw(ヤマ-</p> </div> </div>
<p>その他</p>	<p>気象現象の激化が進行する中で河川の氾濫は避けられず、その対策は上流と下流のそれぞれに求められます。被害を最小限に留めるためにどう備えるべきなのか、今回のプロジェクトに参画し、作成したパンフレットを従業員へ配布することで、一人一人が流域治水の重要性を理解し、被害への対策の必要性を認識する良い契機となりました。</p>